

ふれ愛まつり、今年も出店します！

いわくら市民ふれ愛まつりに来て下さいね！
今年も出店します！いろいろな国のお茶、ジュースとお菓子がありますよ！ふれ愛まつりにお出かけの際はぜひお立ち寄りください！

- 台湾 - タピオカ入り紅茶
 - メキシコ - ジュース各種
 - マレーシア - ミルクティ
 - ネパール - チャイ
 - モンゴル - バター茶
 - ロシア - ジャムチャイ 他
- (1杯50円~100円を予定してます)
※お菓子がついてきま〜す(^o^)/
日時： 11月7日(土) 10:00~16:00
8日(日) 9:00~15:30
場所： 総合体育文化センター駐車場



昨年度のふれ愛まつりの様子

世界のお惣菜 ~リトアニア編~

次回の世界のお惣菜は、リトアニア料理を予定しています。
会場は、岩倉駅東に新しく開館する生涯学習センターの調理室になります。
皆さんの参加をおまちしています。

- 日時：2010年1月17日(日) 午前10時~
- 会場：サクラド岩倉 2階
生涯学習センター調理室
- 講師：おおかわユラティさん
- 定員：25人
- 参加費：会員は400円(小学生以下200円)
会員ではない人600円
(小学生以下300円)

- 持ち物：ふきん、エプロン、筆記用具
- 申込：出野☎37-2495、早坂☎66-7495
※申込締め切りは1月10日(日)まで



会報	COM第64号(2009年11月1日)	事務局	〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)
発行	岩倉市国際交流協会	TEL・FAX	0587-66-7347
印刷	大橋印刷	http://	www.iies.info/

Iwakura International Exchange Society	COM 	岩倉市国際交流協会 第64号 2009年11月1日
---	----------------	--

マレーシア交流の軌跡

8月14日から22日まで岩倉市中学生海外派遣事業で14人の中学生がマレーシアのパハン州テメローを訪問しました。そのサポート役として同行してくれた法政大学4年生の千村宜輝さんに今回の派遣事業での感想を書いてもらいました。

<千村宜輝さんより>

僕は今回、通訳兼引率サポート役として参加させていただきました。僕は渡航の経験は有りましたが、通訳としてとか、引率サポート等という大役を担っての渡航は初めてだったので、正直、緊張と不安を伴うスタートでした。またビデオ撮影の役割も任されていたので、慣れない機械操作で撮影ミスなどをやらかさないかとかなり緊張して向かいました。

現地に着いてからはハプニングの連続で、当初の予定とは大分違って戸惑いの連続でした。スピーチを日本語や英語に同時翻訳したり、ころころ変わる予定の時間調整や子ども達に対応したりで、頭と体をフル稼働させました。マレーシアの至るところいたヤモリの手も借りたいほどでした。

緊張と気配りの日々を重ねる中で、少しずつ自分の役割にも慣れ、子ども達とも良い距離感で仲良くなり、充実した時間が過ごせたと思います。また、自分自身もマレーシアの人たちと充実した交流が出来たと感じ、大きな収穫になったと思います。

そして何より、それぞれの子ども達が日を追うごとにたくましく成長していく姿を目の当たりにできたことに感動しました。出かける前には口数も少なく表情が硬かった彼らが、それぞれに現地のホスト達と笑顔で心を通わせ、楽しそうにしている姿は見違えるものがありました。

この交流に参加した子ども達が、今回の経験を日々の生活に活かしてほしいと思います。また、海外情報やいろいろなものに対してアンテナを向け、積極的にいろいろなチャレンジをし、経験を増やしてほしいと思います。そして、いろいろな舞台で活躍できる人間に成長していったらな、と思います。

今回、この交流に参加できて本当に良かったと思っています。どうもありがとうございました。



パハン州ラウブにて全員集合！

あいちワールド・フレンドシップ・フェスタに参加しました!!

愛知万博の一市町村一國フレンドシップ事業で、パートナーとなった相手国との交流を継承し、相手国の文化・生活を体験を交えて紹介する「あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ」が開催されました。今回はその運営を担当した岩倉市秘書課の高野さんにその報告をしていただきます。

<岩倉市秘書課高野さんより>

生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が、いよいよ来年、ここ愛知県で開催されます。2005年に国際博覧会を開催した愛知県にとって5年ぶりに世界中から要人が集まる一大国際行事ということもあり、1年前の今年からなかなかの盛り上がりを見せているようで、関連イベントが数多く予定されているようです。そんな中で、去る10月10日（土）から11日（日）にかけ、思い出の万博会場、愛・地球博記念公園にて愛知県主催のイベント「あいちワールド・フレンドシップ・フェスタ」が行われました。ミニ・万博とでもいうのでしょうか。各団体が一国ずつ割り当てられ、その国について紹介していくのです。2005年の愛・地球博以来の岩倉市のフレンドシップ国をご存じですか。そう、キューバ共和国です。岩倉市は、キューバを紹介するブースを出展し、岩倉市国際交流協会がそのお手伝いをしました。

その週に日本を襲った大型台風が嘘のような穏やかな秋晴れ。お天気に恵まれた2日間は、特別ゲストの参加あり、キューバならではの飲み物の試飲あり、サルサ・ダンスありの盛り上がり。ご来場いただけなかった方のために少し説明しますと、特別ゲストとは、在日本キューバ大使館からのお客様。愛・地球博のキューバ館で館長を務められたフランク参事官（現）です。万博の思い出をたくさん語っていただきました。続きまして試飲では、キューバ産マンゴーを使用したマンゴージュースと、モヒートというキューバの首都ハバナで生まれたカクテルをご来場の皆様に味わっていただきました。そしてサルサ・ダンスは、同じく万博でも活躍され、その後も岩倉市内中学校などでサルサ・レッスンを行ってくださったエルメス・ダンスカンパニーのエルメス先生。2日間、計5回にわたるミニレッスンを行っていただき、大盛況でした。しかもエルメス先生にはモヒートの作り方指導までしていただきました。

モヒートを作るにはラム酒を使うのですが、私たちが作ったモヒートを飲んで一言、「ラム酒がキューバ産じゃないね。」とのこと。さすが！一口で見抜いてしまうんですね。産地にまで気が向いていませんでした。



内藤理事長（左）と参事官フランクさん（右）

そんな私たちのために、次の日キューバ産のラム酒を差し入れに持ってきてくださったエルメス先生に感謝です。肝心のダンス・レッスンの方も、最初は遠巻きに見ていたお客様たちがだんだんと輪に加わり、最後にはとてもいい笑顔で踊っていらして、音楽や踊りに国境はないのだからなんてことを改めて感じたのでした。

またブースでは、万博の際にキューバから岩倉に来てくださった映画監督が岩倉のまちを撮ったショート・フィルムを上映し、市内の中学生がキューバの学生と交換した手紙や絵などを紹介しました。

と、ここまでつらつらと書いていますが、実は国際交流協会1年生で、おまけに学生時代は文化祭やら体育祭やらが苦痛で仕方がなかった。イベントづくりが大苦手な著者は、今回、このフェスタに準備の段階から色々な立場で関わって、苦労しないはずがありませんでした。しかしフェスタ当日、関係者の、そしてお客様の笑顔を見て、安堵すると同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今回のようにフェスタという一つのものを皆で作りに上げていく作業は、国際交流の本質を少しだけ教えてくれた気がしています。相手の文化を知ること、興味を持つこと、尊重すること。それは国際交流の第一歩です。苦労することもあります。でも難しいことじゃありません。だって普段、何気なくやっているはずですから、私たち。人と人が関わるところ、きっとそれは



ブースでは試飲コーナーに人だかりが！



エルメス先生に習う本場のサルサダンス

はどれをとっても、多かれ少なかれ「異文化交流」なのではないでしょうか。理解しあうため、相手の考えを知り、興味を持ち、そして尊重すること。そしてその過程での苦労は、フェスタ当日、皆の笑顔がきれいさっぱり洗い流してくれました。ちょっといいな、と思ったあなた。次はあなたの番ですよ。ぜひ積極的に「国際交流」、関わってみてくださいね。Let's join us!!